

## 第6回「川のワークショップみえ」開催報告

川づくり会議・みえ事務局

平成28年2月27日（土）の12時から、三重県総合文化センター多目的ホールにおいて、第6回目となる「川のワークショップみえ」（実行委員長：朴恵淑三重大学教授）を開催しました。4年ぶりの開催でしたが、60余名の参加を頂き、14の団体から熱い活動発表がなされました。

### 1. 話題提供（NPO法人全国水環境交流会 代表理事 山道省三さん）

山道さんからは、「“いい川”をテーマにしたこの20年の経過」と題して、「川の日」ワークショップの開催をきっかけとして、官民の情報交換、交流により“いい川”のイメージの共有が進み、“いい川”づくりの実践に向けた取り組みへと進んでいるとのお話を頂きました。



### 2. 活動発表&意見交換

このワークショップは、三重県内を中心として、山～川～海をフィールドに活動しておられる市民、学校、行政等の各団体が一堂に会し、その活動発表を行うことにより、お互いの情報交換や連携を深めることを目的に開催しています。

今回も、小学生、高校生の調査発表、市民団体の活動報告、行政の取り組み報告等を行ない、川上代表幹事のコーディネートで、各団体ごとに意見交換を行いました。

#### ◆第6回川のワークショップみえ 発表者一覧

| 番号 | 団体名・機関                | テーマ                       | キーワード           |
|----|-----------------------|---------------------------|-----------------|
| 1  | 梅村学園 三重中学校・高等学校       | 本校で授業およびクラブ活動で行っている海の環境教育 | 干潟・フォーマル教育・外部連携 |
| 2  | 三重県立久居農林高等学校          | 雲出川中流付近の自然環境について          | 森・生物・水          |
| 3  | 三重県立四日市農芸高等学校 自然環境コース | 高校生による河川環境調査（鈴鹿川）         | 高校生・環境・理解       |
| 4  | 佐奈川を美しくする会            | 佐奈川を地域の憩いの場にする取り組み        | 連携・憩いの場・生物多様性保全 |

|    |                                |                          |   |
|----|--------------------------------|--------------------------|---|
| 5  | 朝明川に多くの生き物を蘇らせる会               | 朝明川中流域（千代田橋～広永橋）に生息する魚たち | 生息する魚・出来山井堰の影響・魚道設置（改修）計画   |
| 6  | やすらぎくんネット実行委員会<br>地球クラブ        | 鈴鹿川流域の自然環境保全活動の推進        | 認め合い・助け合い・育む  |
| 7  | やすらぎくんネット実行委員会<br>亀山の自然環境を愛する会 |                          |   |
| 8  | 株式会社 森組                        | ヤギのいる工事現場                | やぎ・除草・維持管理  |
| 9  | 22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会              | 100年後漂着ゴミを0に             | 伊勢湾・答志島・漂着ゴミ  |
| 10 | ウミガメネットワーク                     | ウミガメの保護と海岸保全             | 砂浜の減少によって産卵場所が減っている。人工照明によって、砂から脱出した子ガメが海に帰れない。混濁によってウミガメが命を落とすことがある。 |
| 11 | 三重河川国道事務所                      | 宮川桜づつみの景観に配慮した川づくり       | 堤防強化・歴史的な土木文化遺産の保全・桜景観の保全   |
| 12 | NPO法人 ふるさと企画舎                  | 銚子川の新しい発見                | つながり・発見・伝え残す  |
| 13 | 魚と子どものネットワーク                   | 魚が棲める水環境を次世代に・・・         | 魚・子ども・多様性   |
| 14 | 海蔵川探検隊・うみくら                    | 北勢バイパス工事における希少種保全活動の途中報告 | 海蔵川・行政・保全活動   |





### 3. 全体ディスカッション

朴実行委員長と山道さんにステージ・トークを繰りひろげて頂くとともに、“いい川”づくりを進めるために必要な要素について、会場との全体ディスカッションを行いました。



最後に、各発表団体に日頃の活動をたたえる表彰状「讚」と「記念品」を贈りました。



今後とも、このワークショップのような取り組みにより、各団体の連携と活動の高まりを図り、川づくり会議・みえの目的である「山～川～海のつながりと、自然豊かで子供が遊べる魅力ある川づくり」を目指していきたいと考えています。